

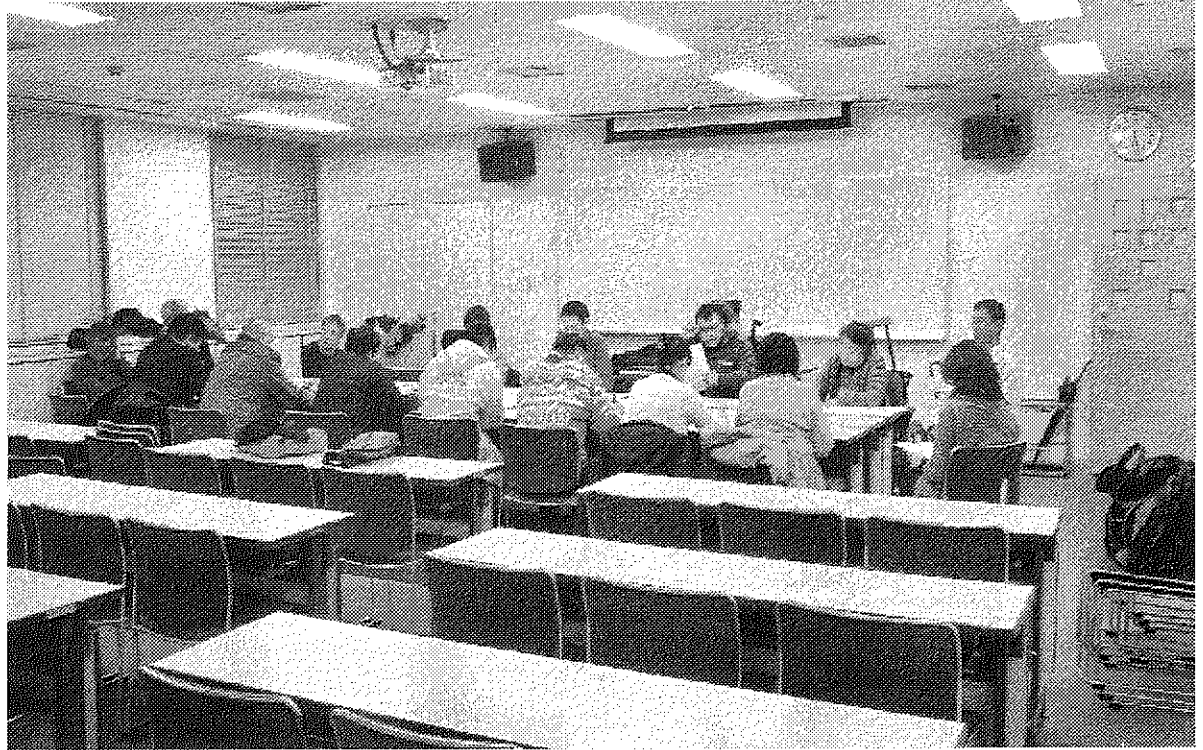
例会の報告

3月20日の例会では、2014年以降の方向性について、別紙資料「アンケート集計とポイントの整理」を基に意見交換を行いました。

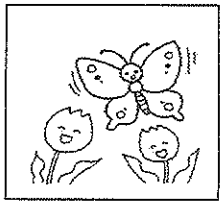
前半は、報告・告知事項として、市よりの権利擁護調整委員の選任依頼について、引き続き多田氏が担うことを確認。また、路線バスでの知的障害者対応問題への取り組みについても、継続して取り組むことを確認しました。路線バスに関しては、視覚障害者の方からも、「バス停での音声アナウンスが複数停車の場合どちらに乗るか判らない」という問題が挙げられるなど、八障連らしい意見交換となりました。

後半は、検討事項として、アンケートの結果等を踏まえ、今後の八障連の有り方や、活動内容の見直しの必要性について話合いました。総会へ向けて様々な意見が聞かれましたが、例会という事もあって、今回は現状の確認と整理に留まりました。

存続の危機もあり得る話であった為、参加者も21名と多く、これからの八障連を検討する上で貴重な意見を数多く頂け、話の尽きない実りある例会となりました。〈文責/川出〉



四方山話 アンケートと総会のこと…



去る2月から3月初旬にかけて団体正会員を対象に、八障連の今後へ向けての緊急アンケートを行いました。基本法人宛にFAX・Eメール・郵送にて配布し、約75%の回答率でした。一部に、こちらのミスでお手元に届けられなかった団体もありましたので、そのことを考え合わせると、8割前後の団体から回答を得たことになります。まずは心よりお礼を申し上げます。

今回のアンケートは、その文面でもお知らせしているように、八障連の今後の方向性を検討する上での、参考データを集めることが第一の目的でした。その意味では極めて重要なデータを得ることが出来ました。具体的な集計結果については、別紙資料「アンケート集計とポイントの整理」をご確認頂くとして、ここではその中で特に気になった点と、合わせて問題点の整理をさせていただきます。

前回の通信でも触れましたが、まず何より目に付いたのは、「八障連の捉え方…」の問いに対して「情報媒体の一つとして…」とのみの回答が予想以上に多くありました。それと同時に「例会・イベントへの参加…」の問いでは、「時間帯等が合わない…」との回答が極めて多く、「テーマが合わない」または「団体の利益になる内容なら…」との回答も相当数ありました。一方で、年会費についての問いでは「役割を考慮すると妥当」あるいは、「応援または支える意味で…」との回答が、予想に反して8割以上を占めました。

このことから導き出されるのは、多くの団体が「情報には欲しているが、例会やイベントに参加するには、諸々の意味で余裕がない」そんな感覚で八障連に加盟しているのではないかという想いでした。先日の運営委員会でも「例会の時間帯を年何回かでも変えてみては…」との提案はありましたが、「時間帯の問題ではなく、内容に魅力が感じられないからではないか」との結論でした。

では、役員・運営委員は余裕があるから務められるのでしょうか…？ 例会に出てきている数少ない人たちは暇だから来られるのでしょうか…？ 個々の状況は別として、それぞれに努力をし、都合を着けて参加しています。また、それぞれの口から聞かれるのは「他の障害・団体の状況や地域のことを聞き議論することで、自分に返るものが多く、それが如いては団体の利益につながると感じているから…」という言葉です。

アンケートの中でも、「通信の情報薄い」との回答が複数ありました。確かに、現状の通信には改善すべき点が様々あります。しかし、機関紙で得られる情報は微々たるものであることも事実で、むしろ他の障害・団体の方とのコミュニケーションから得られる情報と比べれば、単なる回覧板程度にしかありません。言い換えれば、他の障害・団体の方との情報交換の場を提供することが八障連の最大の役目であり、利点であると言えます。さらには、一見自分の立場に関わりのないテーマ・話題であっても、障害者問題は全て繋がっていると考えれば、その中に参考となる部分を見出すのも容易いことと言えます。

現在進めている新年度の事業計画の中では、可能な限り各団体の参加の機会を増やす方向で検討しています。但し、企画を増やすことは役員・運営委員の負担も増え、両刃の剣ともなります。だからこそ、各団体の積極的な参加と協力をお願いしています。参加対象者も特に代表権のある方に限定していません。その団体に籍のある方でしたら立場を問われることもありません。毎回到底無理としても、ポイントとなる機会には年に1回2回でも参加し、意見交換して頂けることが八障連の活性化に繋がり、各団体の目に見えない利益になっていくと思います。

その上でまず手始めに、来る5月31日に予定している2014年度総会へは必ずご出席をお願い致します。今回は特に今後の方向性を決定づける大切な総会となり、より多くの方のご意見を取り入れられるよう準備を進めております。改めて、よろしくお願い致します。

〈文責/多田〉

Hasshoren Tsushin

事務局通信

Vol.9

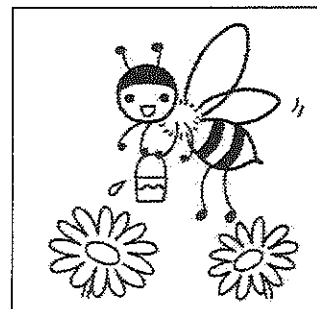
去る3月30日、JR八王子駅北口マルベリーブリッジが東放射線方面へ延伸開通、その記念式典が行われ、八障連から丸山と杉浦が参加してきました。

今回は八王子駅から京王線・京王八王子駅へ向かう「東放射線アイロード」方面へと延伸。距離は131.7メートルで、5メートル幅のペデストリアンデッキのほか、階段2カ所、エスカレーター、エレベーターをそれぞれ1基ずつ新設。「CELEO(セレオ)八王子の北館との接続口も設けられました。

当日は折角の日曜日ながら春の嵐に見舞われる中、12時15分の一般開放を前に、セレオ八王子北館2階で国・都・市の各議会の議員をはじめ、多くの関係者が参加し式典を開催。あいさつに立った石森市長は「八王子のまちづくりはこれからもどんどん進めていかなければならないが、この延伸工事はその第一歩」としたうえで、八王子東急スクエアへの接続や、西放射線通りへの延伸などに意欲を見せた様子でした。「引き続き攻めのまちづくりの下、さらなる八王子の発展を目指して取り組んでいきたい」とも。また、市の担当者も「この整備により、歩行者の安全性と利便性が向上し、八王子駅北口周辺のさらなるにぎわいを生み出すことが期待されます」と挨拶していましたが、東側にエレベーターが一基増えたものの、京王プラザ前の狭い歩道をさらに狭くし、計画段階で市議会でも「14億かける意味がどこにあるのか」と大議論があり、当日も地元出身の代議士が「どうせなら京王八王子駅まで伸ばした方がよい」と発言するなど、問題の多く残る船出となりました。

皆さんもJR八王子駅北口へ行った際は確認してみてください。

〈文責/多田・杉浦〉



連載コラム 『日々のなかから、、、』 vol.27

事務局長 杉浦 貢



今回は、古い古い昔の話をしようと思います。ちょうど30年前、1984年のこと。当時私が通院していた東京小児療育病院に日テレのスカウトが来まして、

一 知的障害がないこと 二 言語障害がないこと 三 海外旅行に耐えられる強靱な体力があること
という条件に合う障害児を探していたのです。

当時の院長の強力な推薦もあり、当時7回目を数えていた24時間テレビに出ることになりました。

10歳の自分の姿が駅のポスターになったり、電車の中刷り広告になったりしました。

もちろん武道館のステージにも立ちました。もう誰も私のことは覚えていないでしょうけれど。

よく《人は一生に一度、自分が主役になれる瞬間がある》なんて言ったりもしますが、アレに出てからしばらくは、そう信じていました。自分が主役になったんだと。

しかし、今振り返ると、楽しいことも確かにあったけど、辛いことも多かったと思い出します。番組の企画で北欧のフィンランドまで、一週間海外ロケにもいきました。

朝の五時から夜の十一時まで分刻みのスケジュール。

何かあるごとにカメラを向けられハイ笑顔、ハイこいう事しゃべってね、といちいちチェックが入る
フィンランドは本当にいい国でしたし、いつかまた行きたいと思いますが、10歳の子供にはきつい日程でした。

自宅の様子も撮られました。自分が選ばれたんだと得意になったりもしたけれど、

何日もテレビカメラに追いかけて回され、私がどんな子供なのか、何を感じどう生きているのか、といったことにはまるで関心がなく、ただ面白い映像、感動する映像のみを探そうとする取材チームの姿勢には、家族全員がうんざりさせられました。

障害者の、地味で平凡な真実には見向きもしない。真実を伝えるよりも、商品としての番組が作れるかどうかに関心があるわけですね。

あれから年月がたちましたが、テレビ局のこうした演出過剰な姿勢は、今でもあまり変わってないのではないかと推察します。

普通に生活していたら絶対できない経験もしたし、いい思い出も無いわけではないけれど、出たことのある人間として断言しましょう。

テレビ局の裏側はウソだらけです。真実もあるけれど、ホンのちょっぴりです。コロモばかり分厚くて、肉が少ないぼったくりのトンカツみたいなものです。

実は別人に作曲させていた現代のベートーベン氏も、演出の流れに乗り、テレビ局が言外に求めるものに応じたに過ぎないのではないのでしょうか。

目の前の流れに乗って、自己顕示欲を肥大させただけの、無自覚の嘘つきにすぎません。一番悪いのは、《面白ければ、視聴率が取れば、その他のことはぶっちゃけどうでもいい》という制作側の姿勢、そして、現実から解離して《障害者》という存在に過剰なまでに感動や奇跡を求め、簡単に騙されてしまう世の中の安易な風潮そのものなのではないのでしょうか。

今後のスケジュール

4月17日(木)	例会	18時～20時	クリエイトホール
4月24日(木)	運営委員会	18時～20時	クリエイトホール
5月31日(土)	定期総会	13時半～16時	労政会館

